

平成23年度 第2回五泉市総合計画審議会 議事要約

日 時 : 平成24年1月27日(金) 午後1時30分～4時20分
場 所 : 五泉市役所 4階 401会議室
出席者 : 委員19名
欠席者 : なし

1. 開会 (事務局)

第2回五泉市総合計画審議会を開会する。

19名の審議会委員のうち19名の出席を得ており、審議会が成立する。

2. 会長あいさつ

樋口 滋会長より開会の挨拶をいただいた。

3. 本日の説明

○日程の追加について説明。

第4回審議会 2月15日(水) 10:00～

委員から日程の追加について了承いただいた。

○第1回審議会の議事要約

委員へ事前に郵送させていただいた。

○第1回で宿題とさせていただいた質問等に対する答えについて

当日配布した補足資料に従い説明。

質疑応答

●関川和男委員

図書館と本町通りを結ぶ市道の整備について、拡幅整備に必要な土地の地権者は一人で、同意いただければ県道並みの整備ができると思うが。

●事務局

現在、道路を拡幅する計画はない。平成24年度において消雪パイプを設置する予定を

お知らせした。

4. 議事

議事（1） 審議（後期基本計画）について

※政策単位を1テーマとし、テーマ4からテーマ10について審議。

審議方式は次の通り。

- ・テーマに含まれる施策の概要を事務局より説明
- ・テーマに含まれる施策の原案を委員より再度確認
- ・委員よりテーマに関する意見

質疑応答（テーマ4：施策番号10～13）

●茂野紘一委員

施策番号10 「親子の健やかな発達への支援」＜現状と課題＞の中で、市内に産婦人科が無いなどの記述もある。五泉市における医療の中核的な役割を果たしている、北日本脳神経外科病院や南部郷総合病院、南部郷厚生病院は医療法人真仁会が運営を行っているが、市は産婦人科等の設置を要請しているのか。また、真仁会にどれだけ協力しているのか。関わりを持っているのか。

●事務局

産婦人科等をはじめとした医療体制の充実のために、施策番号18 「安全・安心な保健・医療体制の充実」にもあるが、市外医療機関とも連携しながら取り組みを行っている。

●阿部良夫委員

5年後にはもっと高齢化が進むことになるが、施策番号17 「高齢者福祉・介護保険の充実」の記述のなかに「地域で支える体制づくり」とあるが、気にかかるところである。モデル地域を設定してデータを収集し、地域で支える体制づくりへの対応について検討する必要があるのでは。

●事務局

担当課に伝え参考にさせてもらう。

●和泉純二委員

施策番号10 「親子の健やかな発達への支援」にある五泉市の産婦人科の現状について、市民まちづくり会議の場でも申し上げてきたが、その内容がどのように担当課に伝わり、どのような取り組みを行ったか。また、現在の状況を、次回まででよいので教えてほしい。

●事務局

市民まちづくり会議で出された意見等は担当課に伝えてある。産婦人科の不足は五泉市だけの問題でなく全国的なもので、国に対しても要望を行っている。

詳細な内容については、次回の宿題とさせていただきたい。整理して説明する。

●関川和男委員

施策番号 10 「親子の健やかな発達への支援」にある五泉市の産婦人科の現状について産婦人科誘致については市長のトップセールスが必要なのでは。優遇措置などがあってもよいのでは。

●松尾幸一委員

産婦人科の確保は前期計画にもあったが実現できていない。総合計画、実施計画について実施できたかどうか、誰がどうやってチェックしているのか。

●事務局

市政の基本となるものが総合計画であることから職員は意識して職務を行わなければならない。事務事業の評価、施策の評価等の行政評価を実施してチェックしている。

●和泉純二委員

産婦人科の確保は伊藤市長のマニフェストに入っていたと記憶している。

質疑応答（テーマ5：施策番号14～19）

●瀧澤健一委員

施策番号 14 「健康づくりの推進」＜今後の取り組み＞「1 総合的な健康づくり事業の推進」の説明文後段にある献血の推進について、若い世代に献血について啓発を行っているのか。献血する人を増やすための取り組みはどのようなことを行っているのか。

●事務局

現在、手元に資料がないため次回の宿題とさせていただきたい。整理して説明する。

●山崎洋子委員

施策番号 16 「食育の推進」＜今後の取り組み＞「6 食文化を伝承する機会の充実」に関して、伝承料理について調べたい。地域の行事等どこに問い合わせればよいか。

●事務局

健康福祉課を窓口としてお願いしたい

質疑応答（テーマ6：施策番号20～22）

●佐久間淳介委員

施策番号 21 「交通安全と防犯の推進」＜今後の取り組み＞「4 地域における防犯体制支援の充実」の説明文後段にある防犯灯について、青い防犯灯があるが、町内会単位で行っているのか。また、市が指導しているのか。

●事務局

青い防犯灯は町内会で判断して設置している。

●茂野紘一委員

施策番号 20 「安全・安心な水の供給」＜現状と課題＞上段に「上水道事業は、水源の

大部分が良質な地下水を利用している」との記述があるが、恵まれた自然の恩恵を受けたものである。自然環境保護に取り組まないと、将来、取り返しのつかないことになる。

施策番号 22 「地球環境の保全」＜今後の取り組み＞「環境問題に対する意識啓発の推進」の説明文後段にある環境保全団体の育成を市が主体的に進めるべき。

●関川和男委員

市役所庁舎前にある噴水のような施設はなぜ使わないのか。使わないのであれば駐車場にでもすればよいのでは。

●事務局

次回までの宿題にさせていただきたい。

●荻部明彦委員

木を切ったりすると処分にあたり焼却を行いたい、どの程度であればさし支えないか

●事務局

大気汚染等の影響もあるので焼却による処分は難しい。ご理解いただきたい。

質疑応答（テーマ7：施策番号23～25）

●松尾幸一委員

施策番号 25「雪害対策の推進」＜今後の取り組み＞「5 生活弱者への支援」の説明文にある「地域コミュニティを活用したボランティアなどによる助け合いの除雪体制を促進します。」とあるが、どのような体制なのか。高齢者を守ってほしい。

●事務局

社会福祉協議会のボランティアセンターやその地域の町内会、自治防災組織などがこの体制を担っていくことになるのではないかと考える。

●岩出一夫委員

施策番号 17「高齢者福祉・介護保険の充実」と施策番号 25「雪害対策の推進」は内容において重複するのではないか。

●事務局

総合計画はそれぞれいろいろな観点から記述しているのでご意見のとおり。

●米原裕子委員

施策番号 24「防災意識の高揚と防災施設整備の推進」＜施策指標＞「避難場所を知っている市民の割合」について、平成 28 年度目標値 80%としてあるが、市民の命に係わることでもあるので、やはり 100%にすべき。

●事務局

目標値は、現状を踏まえ、取り組む中で達成できるかどうかのところを設定している。ご理解いただきたい。

●米原裕子委員

産婦人科の確保については、市民まちづくり会議や市民意識調査のなかでもその重要性

は高いものとなっているが、政策別実施計画にはその取り組みが見えてこない。重要なものであり具体的に組み入れてもらいたい。

●事務局

政策別実施計画では事業費を持たないものは表示されない。職員による取り組みは行っている。

●剣持雄吾委員

施策番号 23 「信頼できる消防・救急・救助体制の推進」＜今後の取り組み＞「4 救急救助体制の充実」について、救急車の出動が遅いのは、受け入れ病院が決まらないという状況が原因にある。この解消のため、今後、広域的な救急医療体制が整備される予定であるが、その内容について積極的に記述されていないが、なぜか。

●事務局

次回までの宿題にさせていただきたい。

●苅部明彦委員

施策番号 23 「信頼できる消防・救急・救助体制の推進」＜今後の取り組み＞「1 消防体制の充実」の説明文中段に「消防団員の担い手の不足」とあるが、もっと消防団を PR すべきだ。消防団員の確保について、全市民で努力すべきだ。

●小浦方禮次委員

消防署に勤務していた現役時代も苦慮した記憶がある。高齢者も消防団員にという話もあるが活動中の怪我が心配。各地域が一生懸命に取り組んでいると思う。

質疑応答（テーマ8：施策番号26～28）

●松尾幸一委員

施策番号 26 「青少年を地域ぐるみで育む環境整備の促進」＜施策指標＞「青少年の健全育成策に満足している市民の割合」が実績値など低い数値であるが、何の数字なのか。

●事務局

市民意識調査（アンケート）の結果である。

●苅部明彦委員

施策番号 26 「青少年を地域ぐるみで育む環境整備の促進」＜今後の取り組み＞「4 地域での活動機会と活動の場の充実」について、施策番号 10「親子の健やかな発達への支援」＜今後の取り組み＞「1 思春期保健指導の充実」とあわせて考えるべき。このような問題は、学校教育よりも、地域、家庭にまかせたほうがよいとの風潮がある。学校でも授業等で取り組んでほしい。

●事務局

要望として伺う。

質疑応答（テーマ9：施策番号29～31）

●桐生友夫委員

施策番号 30 「工業の活性化」＜今後の取り組み＞「1 地域内交流における地場産業の活性化の推進」の重点事業にある（仮称）産業振興センター建設推進事業について、建設した場合、施設の維持経費が多額になる。提案であるが、アンテナショップを東京に設置し、その利益を（仮称）産業振興センターの維持経費に充てるべき。

東京にあるアンテナショップと（仮称）産業振興センターを連動させてほしい。（仮称）産業振興センターがアンテナショップの配送センター的な役割を担い、五泉のニットや農産品、特産品をアンテナショップで販売する。

もう一つの提案として、五泉の2と7の日に行われる定期市を、五泉の台所として（仮称）産業振興センターに組み入れていただきたい。ここに観光客が訪れるとよいのでは。

ぜひとも、実施計画の中であらわしてほしい。お願いしたい。

●小浦方禮次委員

現在、今泉の自動車学校周辺で行っている道路工事は、駅南側の整備に関するものなのか。

●事務局

県道の歩道バリアフリー化と交差点改良である。

●関川和男委員

配布資料、資料No.8の政策別実施計画の35ページ「まちづくり推進事業」の年度別事業費について、この内訳を示していただきたい。

●事務局

現在、手元に資料がないため次回の宿題とさせていただきます。整理して説明する。

●関川和男委員

五泉駅周辺の整備は重要な取り組みである。一つの施策として立ち上げてよいのでは。

●事務局

交通結節点としての強化の観点から施策番号 40 「公共交通機関の利用しやすい環境整備」の重点事業になっていたり、その他、様々な観点から各施策に反映されている。一つの施策として立ち上げるのは難しいと考える。

●茂野紘一委員

施策番号 30 「工業の活性化」＜今後の取り組み＞「1 地域内交流における地場産業の活性化の推進」の説明文後段に「（仮称）産業振興センターの整備について検討します。」とあるが、場所、費用対効果等を研究していかなければならないと考える。また、市役所新庁舎との兼ね合いもあるので、広く意見を聞きつつ早急に検討していただきたい。

●茂野紘一委員

施策番号 30 「工業の活性化」＜今後の取り組み＞「2 工場の増設支援及び企業誘

致の促進」について、市長のトップセールスだけでは難しい。企業誘致における企業側のメリットをもっと大きくすべきと考える。他の自治体にはないくらいの優遇措置を行わないと企業は来ない。かなり思い切った施策を行うべき。

●関川和男委員

五泉市・村松町合併法定協議会のなかで、新庁舎について、五泉と村松の中間に建設することが明文化されている。その内容は、「適地として五泉と村松の中間付近に住民が要望する施設を建設した後、合併後10年以内に併設する。また、その財源手当として基金を造成する。」としてあるが、現在、基金の積み立てをしているのであればどのくらいしているのか。

合併してから既に5年が経過し、今後5年先のことを今考えているが、10年以内に建設するかどうか。もし出来ないのであれば、このへんで総括して、ごく近いうちに市民に納得いただけるような説明が必要だと思う。合併時の新庁舎建設の議論については多くの市民が覚えている。新庁舎建設については、けりをつけるべきだ。市民の不満を少しでも早く解消できるようにすべきと考える。

●事務局

平成23年12月の市議会定例会における一般質問の中で、新庁舎建設について問われ、「昨今の大変厳しい経済状況、財政状況を考えたとき、また、現在の五泉地区と村松地区それぞれの町並みの在りよう、庁舎が移転することによる両商店街の空洞化、市民サービスへの影響等、これからのまちづくりを考えていく中で、新庁舎の建設について、慎重に検討しなければならない。」と市長が答えている。

基金の積み立てについては現在のところ行っていない。

委員のご意見として賜りたい。

●阿部周夫委員

新庁舎は必要としないという立場で、平成23年12月の市議会定例会において一般質問した。伊藤市長の答弁は「経済状況等を考えたとき、新庁舎の建設については慎重に検討しなければならない。」であり、私の個人的な受け止めかたとして、新庁舎は建設しないのではないだろうか個人的に解釈している。茂野委員から新庁舎と産業センターを複合したまちづくり、関川委員からはこの件についていかがなものかという意見、もし、この審議会で方向性が示せるものであれば、私個人的には示していただきたいと思うが、いろいろな地域から、いろいろな会からの代表として皆様から出ているので、その辺も含めた上で検討していただければと、文書で明確に、建てる、建てないなど、今この場で審議するのか、しないのかも含めて次回までに検討していただきたい。

●茂野紘一委員

先ほどの発言について誤解があるといけないので補足させていただく。市役所新庁舎と（仮称）産業振興センターが同じ位置でなければならないと言ったわけではない。合併する際にそういう話があったということをおし上げただけだ。合併して6年が経ち、時代も変わってきた、そこで合併のときの話そのまま引きずっていくのか、それとも時代が変

わったからどうするのか、というのを、改めて、しっかりした会議のなかで決めていかないといつまでもこの問題を引きずることになる。関川委員と同じ主旨で話をさせてもらった。

●事務局

総合計画後期基本計画について、皆様より今後5年間の施策の方向性をご審議いただいている。新市建設計画の中で、前期総合計画期間でできたものもある。まだ残っているものもある。財政状況をはじめとして様々な状況のなかで、後期基本計画（原案）に表現できたものや、慎重に検討しなければならないもの、いろいろな面でまだ表現ができないものもある。新市建設計画の残り事業については、合併特例債の期限を合併後10年としていたものが5年間延長することで現在、国会で審議されている。これら国の動向や市の財政状況等も見ながら実施計画のなかで、慎重に検討していかなければならないと考えている。

●樋口滋会長

阿部委員からの申し出については事務局と相談して次回お答えしたい。

質疑応答（テーマ10：施策番号32～36）

●阿部良夫委員

施策番号 32 「農産物のブランド化と安全で安心な食の推進」＜今後の取り組み＞「4特産品を活用した加工品等の開発」における6次産業化について、国も推進しているもので、TPPの問題に関連して、この対策費として国から多額の支援があると思う。ガットウルグアイラウンドの時もそうだった。他市に先がけて対応できるような高いアンテナを持ってほしい。国からお金が出た場合のシュミレーションをしていただきたい。6次産業化を進めるための（仮称）産業振興センターや農産品の加工施設などができれば。また、これら施設を整備するために市民を対象としたファンド（出資制度）なども検討してほしい。

●桐生友夫委員

（仮称）産業振興センターでは、農産品の加工を行う。農産物が1つ100円で売れるが、ゆでると500～600円になる。都会では、生ものは売れない。ゴミが出るのは売れない。電車に持ち込めないネギは売れない。ところが加工品はニーズがある。東京では下処理をした加工品が売れる。このよう取り組みで雇用が生まれる。五泉応援団には優秀な人材が沢山いるので、連携しながらともに頑張りたい。

●伊藤能徳副会長

TPPによる影響は大きい。国がこの対策に取り組むことになれば対策費が出る。農業の6次産業化については、新潟県の泉田知事も力を入れている。市も積極的に対応してほしい。

委員をはじめとして市民の皆さんからもぜひ協力してほしい。

●阿部良夫委員

TPPが導入されると、安い海外の農産物が輸入されてくるが、五泉にはさといもをはじめ

めとした品質の高い農産物が多くある。加工ができれば、海外へも輸出することができる。

●茂野紘一委員

施策番号 36 「地域資源を生かした観光と都市交流」＜今後の取り組み＞「5. 歴史・文化・産業の観光資源化の促進」の重点事業にある「公園整備事業」について、村松公園で過去に 1,000 人規模のイベントを行ったが、雨天の場合、現地では対応できずひやひやしながら運営した覚えがある。村松公園付近でのイベントの要望は多い。ただ、開催が天候に左右される。できれば、500～1,000 人程度が利用できるテントを用意することができないか。考えてほしい。

5. その他

1) 次回のスケジュールについて

平成 24 年 2 月 3 日（金）午後 1 時 30 分から開催することを確認。

2) 審議会委員の謝礼について

委員口座へ第 4 回の審議会終了後に一括で振り込みさせていただき、了承いただいた。

6. 閉会

以上